CLEAN・UP

クリーンアップ推進員だより

第51号

令和2年3月31日発行

発行：公益財団法人ちとせ環境と緑の財団　TEL 0123-26-1213

令和２年度に向けて

令和元年５月に推進員の改選が行われ、これまで再資源化推進事業を始め、資源回収の事例発表、研修会への参加などにご協力いただきありがとうございます。これからも引き続き、よろしくお願いします。

さて、推進員の経験が浅い方も、ベテランの推進員の方も普段はなかなか推進員同士での繋がりを持つことは難しいかもしれませんが、令和 2 年度も推進員会議や研修会など、推進員のみなさんが集まる機会がありますので、他の町内会の情報収集に役立ててみてください。

また、令和元年度は２名の推進員の方から町内会の取り組みなどを発表していただきました。令和２年度も同様に情報共有のできる企画を検討しております。ぜひ参加をお願いします。

3R講演会「家庭でできるエコな生活！」のご報告

開催日時：令和元年 10 月 12 日(土) 13：30～15：00
講　　師：宮森 芳子 氏　（北海道地球温暖化防止活動推進員）
参加人数：48 名

この講演会では、参加者を 8 グループに分け、グループワークを通して講師の出す課題に対して、グループで意見を出しながら、ごみを減らすための取り組みを考える参加型講演会を行い、推進員の方も多く参加されました。

講師の方から参加者へ「なぜ 1 人 1 日あたりのごみの排出量が増えたのか。それがどの様な問題を引き起こすのか。」を考えてもらった後に、ごみを減らすために行うことのできる取り組みをグループごとに発表してもらいました。あるグループからは、ちょっとの汚れを拭くのに必要な分だけ使える様に、「半分にカットしたティッシュを用意する。」といったもの、他のグループからは、衣服を長く着るために、「流行に左右されない」、「体型を維持する」といった提案があるなど、みなさんで様々な考えを共有することができました。

また、比重の違いを使って水の中でペットボトルの成分を分ける実験を行い、ペットボトルのリサイクル過程で、どの様に資源の分別がされるかを学びました。

クリーンアップ推進員研修会のご報告

開催日時：令和元年９月 27 日(金) ９：00～16：30
研 修 先：①北しりべし広域クリーンセンター（小樽市）
②リサイクルプラザ宮の沢（札幌市）

クリーンアップ推進員 21 名、千歳市環境センター職員１名、財団職員７名の総勢 29 名で、リサイクル関連施設を見学し、再資源化推進を図る上での知識向上に役立てました。

「北しりべし広域クリーンセンター」を見学しました。

北しりべし広域クリーンセンターでは、担当職員の案内により資源物が搬入されてからリサイクルされるまでの工程を見学しました。タイミング良く、ごみの搬入プラットホームに資源物であるペットボトルやプラスチック容器包装を集めた回収車が到着し、それを大まかに手作業で分別している光景を見ることができました。また、布団だけを集めて、資源として処理する工程を見ることができ、終始、丁寧な説明を受けながら、知識を深めることができました。

北しりべし広域クリーンセンター

「リサイクルプラザ宮の沢」を見学しました。

リサイクルプラザ宮の沢では、まず会議室で、担当職員から札幌市での容器包装の収集に関する説明と、当日はすでに抽選会の後だったため、見ることのできない家具リユースについて、家具が集まっている時の様子をパネルを使いながら紹介してもらいました。

会議室での説明の後は、実際にリユース品を展示している会場へ移動し、ここでは希望すればその場で持ち帰ることもできるリユース食器の展示の紹介を受けました。

このリユース食器は、札幌市内でのイベントに貸し出しを行うことで、使い捨てコップや皿などといったイベントごみの減量にも繋がっているとのことでした。

また、衣料品の交換会を行うスペースでは、一般来場者が衣料品を手に取りながら交換会への参加を検討している様子も窺えるなど、全体を通して札幌市のリユースの動きが実際によく分かり、草の根的なリサイクルへの取り組みは参考になるものでした。

リサイクルプラザ宮の沢

これって雑がみ？

推進員のみなさんには町内の方から資源物の分別方法について問い合わせがくると思います。簡単に答えられるものもあれば、そうではないものもありますよね。

ある推進員の方が、「これって雑がみになるの？」と実際に分別に迷われているものを持って、財団を訪ねてきました。今回は、この雑がみの分け方についてご案内します。
それでは実際に持ち込まれたものを見ていきましょう。

【1．包装紙と広告チラシ】

この光沢のある包装紙と広告チラシは、特別なコーティングを疑ってしまうかもしれませんが、包装紙は純白ロール紙、広告チラシはコート紙へカラー印刷したものです。
表面だけがつるつる、裏面はざらざらしていて、柄が透けやすいという特徴があり、主に包装紙に使われる純白ロール紙、表面も裏面もつるつるしていて、柄が透けやすい特徴があり、雑誌などにも使われるコート紙、どちらも一般的な紙なので、この包装紙と広告チラシは「雑がみ」として分別します。

【2．医 薬 品 の 紙 箱】

この医薬品の紙箱は、金・銀色にきらきらと輝いています。この様な紙箱は、下地の紙の上にアルミ箔が貼られ、銀色はそのままアルミ箔の色、金色はアルミ箔の上に塗装することで金色を出している、「アルミ加工紙」です。紙ではなく金属成分であるアルミ箔が含まれているため、雑がみの禁忌品（出してはいけないもの）として「燃やせるごみ」に分別します。

雑がみを分別する際に、注意しなければいけないのが、禁忌品です。見た目にすぐわかるものもあれば、見分けるのが難しいものもあります。みなさんも、上で紹介した様に、これは禁忌品だろうかと悩まれたことが、一度はあるのではないでしょうか。

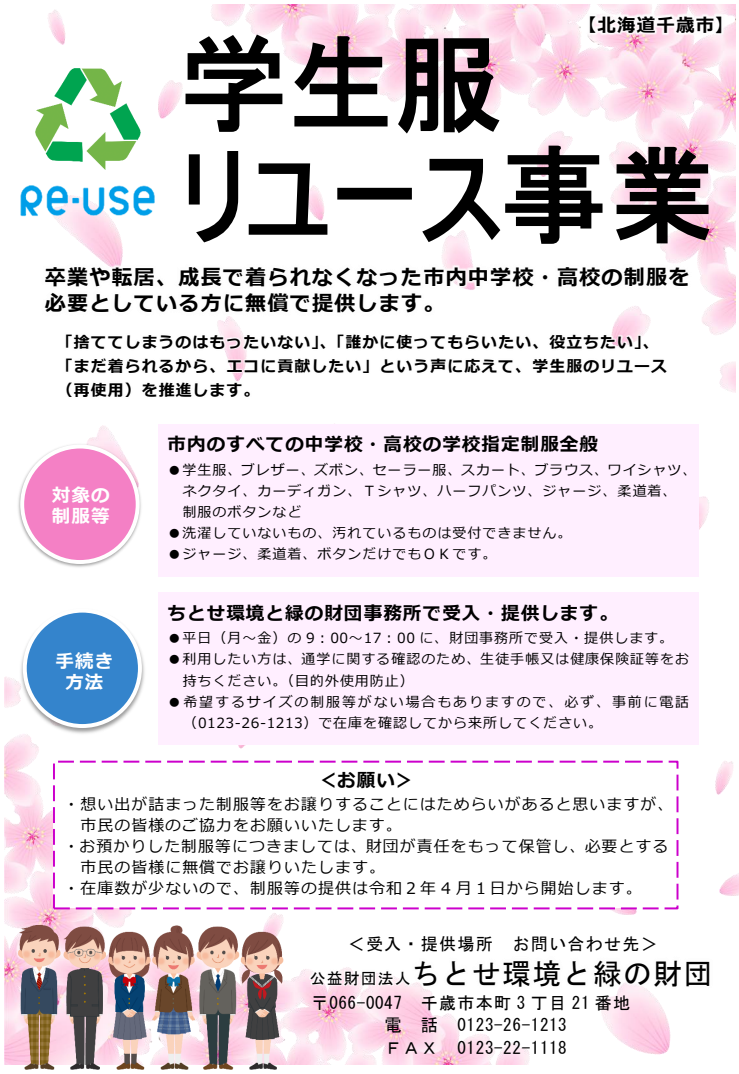
雑がみでは、見た目に普通の紙のためトイレットペーパーの芯、紙パックに似ているヨーグルトの紙容器が出されることがありますが、トイレットペーパーは匂いのある紙、ヨーグルトの紙容器は防水加工された紙として禁忌品です。なお、ヨーグルトの紙容器は紙パックとしても出せませんので、「燃やせるごみ」に出します。

間違われやすい雑がみの禁忌品

トイレットペーパーの芯　　ヨーグルトの紙容器

禁忌品を混ぜてはいけない理由は、禁忌品が混ざると、リサイクルの過程で紙以外の成分が取り除けず、出来上がった紙製品に印刷不良が生じる、匂いがする、金属反応を示すといった、商品価値を大きく下げる症状が起こります。結局、その様に使えない製品はすべて廃棄される結果となります。
判断のつかないものは資源回収に含めないという考え方も一つかと思いますが、財団に確認するか、禁忌品については財団ホームページ内の「集団資源回収のご案内」のページ（https://www.chitosekankyou-midori.or.jp/collection.html）でも紹介しているので、ぜひ参考にしてみてください。

学生服ではじめる優しい気持ちのリレー



みなさんのご家庭には、お子さん、お孫さんが使っていた学生服（現行モデル）はありませんか。

卒業や転居、成長により着られなくなった制服には、まだまだ着られるものがあります。「捨ててしまうのはもったいない」、「誰かに使ってもらいたい、役立ちたい」、「まだ着られるから、エコに貢献したい」という声に応え、市内中学校・高校の学生服等を、学生服、指定ジャージ、柔道着などの現行モデルを対象に、令和２年１月から回収を始め、４月からは学生服等を必要とする人に無償で提供する取り組みを通年で実施することとなりました。

多くの人に満足いただける在庫の充実を目指し、回収を進めておりますので、是非ご協力お願いいたします。

また、ご家族や知人の方で学生服を必要としている方がいらっしゃいましたら学生服リユースのことをお伝えください。

お知らせ

●クリーンアップ推進員会議の開催について

令和２年５月22日（金）にクリーンアップ推進員会議を開催する予定です。開催が近くなり、詳細が決まりましたら別途ご案内のはがきを郵送いたします。

●役員等が変更になったら届け出を

集団資源回収の団体登録事項に係る会長等の変更があった場合は、千歳市町内会連合会への届け出の他に、当財団への変更届のお手続きもお忘れなくお願いいたします。

【クリーンアップ推進員だよりに関する問合わせ先】
公益財団法人ちとせ環境と緑の財団
事業課資源振興係
TEL：0123-26-1213
FAX：0123-22-1118
E-mail：info@chitosekankyou-midori.or.jp

印刷協力：株式会社カミノ